



1



2

1 平安時代の貴族の邸宅である寝殿造の建造物「伽羅御所」。前に広がる庭園には、色づいたイロハモミジやヤマモミジが秋の訪れを告げる 2 例年秋には紅葉のライトアップが行われる。暗闇の中に照らされた鮮やかな紅葉が、より一層際立つ



奥州遺産

— ときを越え

受け継がれるもの —

第122回

歴史公園えさし藤原の郷

Ⅱ 江刺岩谷堂字小名丸Ⅱ

奥州藤原氏初代清衡が館を構えた江刺地域。その由縁ある地に藤原氏が栄華を極めた平安時代の建築物などを再現したのが、歴史公園えさし藤原の郷だ。

えさし藤原の郷は平成3年、奥州藤原氏を題材にした大河ドラマ「炎立つ」の撮影時に、恒久的に残せる歴史公園として建造された。広大な敷地内には、政庁や伽羅御所など約120の歴史的建造物が再現されている。平成5年にテーマパークとしてオープンして以来、約470万人が足を運んだ。

四季の変化で植物たちが園内を彩る。春は桜やツツジ、夏はアジサイやスイレン、秋は鮮やかに色づいた紅葉を楽しむことができる。春と秋の夜にはライトアップにより、昼間とはまた別の姿が顔を見せる。

季節により楽しみ方を変えるえさし藤原の郷。四季の美しさに趣を感じる情緒は、千年以上前から人々の心に根付いてきた財産なのかもしれない。

広告